

令和8年度 第1回ファミサポ会員交流会

己書を体験してみませんか！

己書（おのれしょ）とは、筆ペンを使って絵を描くように文字を自由に表現する新感覚の書です。心のままに描く書 己（おのれ）の書。読んで字のごとく、自分だけの書という意味です。まさに自分だけのオンリーワンの書です。

ぽち袋に己書で、あなたの気持ちを描いてみませんか？

ちょっとしたお返し等を渡す時に、普段使いできるものです。

書道よりも気楽に書ける己書を体験してみましょう。

記

【日時】 令和8年9月7日（月） 午前10時～午前11時30分

【会場】 がまごおり児童館 児童クラブ室

【内容】 『ぽち袋にイラストを描く』 定員20名

※ 筆ペン等はこちらで用意します。



出来上がりは、こんな感じです。

【講師紹介】

己書 41 期師範 己書彩波道場 鈴木結子

己書 41 期師範 己書ことだま道場 芝山 栞

お問い合わせ先：蒲都市ファミリー・サポート・センター
TEL・FAX (0533) 65-9399
E-mail: tasukaru@city.gamagori.lg.jp



《ひとり言》

今年の誕生日、朝からスマホの LINE 通知の音が騒がしくなって、何気に開けてみると「お誕生日おめでとう！」のオンパレード。生まれて初めて、こんなに誕生祝のメッセージを受け取りました。

今年で？歳になり、嬉恥ずかしの気持ちで一杯でしたが、やっぱり幾つになっても祝ってもらえるのは嬉しいものです。

日々健康でここまで生きてこれ、10年先も健康で生活出来るように、そして、またその10年先も、と思ひ願う誕生日になりました。

こんなにたくさんの人に誕生日を祝っていたことに感謝、感謝です。・

※ 燃料費見直しのお知らせ

自家用車を利用した援助にかかる

燃料費は、

7月1日から160円とします。

なお、次回の見直しはR9年1月です。



蒲都市ファミリー・サポート・センター
〒443-0056

蒲都市神明町 22 番 28 号

（がまごおり児童館内）

電話・FAX (0533) 65-9399

E-mail: tasukaru@city.gamagori.lg.jp

業務時間 月、水～土曜日 AM9:00～PM5:00

休業日 火、日曜日、祝日、年末年始

まかせて会員さん どちらも会員さん

いつもありがとうございます



蒲都市ファミリー・サポート・センター

タスカル通信

第71号 令和8年7月1日発行

梅雨に入りうっとうしい日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

このあと本確定な夏への心構え、「熱中症は“気温”ではなく“湿度”がつくる」。

「今日はそんなに暑くないから大丈夫」 そう思うってしまうほど、実は危険が潜んでいます。熱中症の発生に強く影響するのは、気温よりも“湿度”。湿度が高いと汗が蒸発しにくく、体の熱が逃げずにこもってしまいます。つまり、“曇りの日”や“雨上がり”こそ要注意。気温25℃でも湿度80%なら、真夏日と同じくらいのリスクになることもあります。「暑さ」ではなく、“空気の重さ”に気づけるかどうか。これが、熱中症予防の第一歩です。

まかせて会員さんが援助に入る前に、おねがい会員さんへ「水分持参」の確認をし、帽子・日よけの徹底を行いましょう。また、公園遊びは短時間+こまめな休憩「10分遊んで、2分休む」が理想的だそうです。

みなさん、くれぐれもお気をつけください。



「シニア世代向け合同企業説明会」に参加

6月24日(水) 蒲郡市民会館 東ホール



今回、4名の方がファミサポのブースに立ち寄り熱心にお話を聴いていただきました。

令和8年度ファミリー・サポート・センター

説明会・講習会日程は下記のとおりです。

・第2回 R8年10/25(日)

・第3回 R9年 2/28(日)

子育て中のママ・パパや働くママ・パパの手助けをしていただける「まかせて会員」を募集しています。みなさんの善意で成り立っているファミリー・サポート・センターです。ご近所の方やお友達にお声掛けをよろしくお願い致します。是非、みなさんの隙間時間を利用して子育て援助ご協力をお願いします。

令和8年度第一回ファミリー・サポート・センター説明会・講習会
【令和8年6月28日（日）
がまごおり児童館】



講師:こども家庭センター
岡本センター長

令和7年度の
出生は450人をきってきた。
若い世代が安心して子育て
出来るために、まかせて会員さん
のお力が大きく頼りになります。
是非、まかせて会員の登録
をお願いします。



講師:西浦保育園
小笠原副園長



ヒヤリハット
この絵の中
にある危険を探
してください。



参加者は
ファミサポまかせて会員
希望者4名、まかせて会員
1名、保育士7名、児童クラブ
5名の計17名でした。

まかせて会員
に3名登録して
くれました。



子どもの窒息→背中を叩く。腹部突き上げ法
は子どもにはやらない。肋骨は脆いため。



講師:金子救急救命士



～令和8年度放課後児童クラブ職員研修&
ファミサポタスク講座～
「子どもの権利」現場でどう活かす？

令和8年6月25日（木）
午前10時00分から正午
蒲郡市民会館 東ホール



講師:NPO 法人チャイルドラインあいち
代表理事 高橋 弘恵 氏



子どもの声を聴き、
子どもが主体的に自分の
人生を生かされるようにお手伝
いをしたいと思って活動をして
います。その基本にあるのは
「子どもの権利条約」です。



「子どもの権利条約第1条～40条」
(日本ユニセフ協会抄訳)



講師のお話の後のグル
ープディスカッションで
は、積極的な意見を出し
合い有意義な研修になり
ました。



【 研修感想 】

- ・ファミリー・サポートで子どもの送迎をやっており、「子どもの権利」については普段は余り考えなかったのですが、良い時に勉強させていただいて良かったです。
- ・わたしたちのころとは周りの状況と違い、権利とか義務という言葉が世間に飛びかっており、いろいろむずかしい問題も多い気がする。
- ・子どもの心があまり分からずの育て方をして50年でした。
- ・子どもと関わる色々な事柄の背景を常に考えてみえる高橋さんのお話に引き込まれました。大変学びがあり、今後のボランティア活動にやくだてていきたいと思いました。
- ・子どもだから何も分からないと思っていたが、今2歳半の孫を見て、大人の言うこと、やっていることをよく見ているなど実感している。子どもの意見・尊重を意識していきたいとお話を聞いて改めて思った。
- ・今、正に子どもと向かい合って話をしようとしているところですが、(勉強のこと、進路のこと)最初は意見を聞けなくなり、上からの話になってしまう。今日の話はとても参考になりました。
- ・子どもの権利条約第1～40条をしっかりと見たのは初めてだったので、よく考えてみることで良かったです。子を大人の都合に合わせて従わせてはいけないと思いました。
- ・貴重なお話を聞き、今後子どもとの関係を考え直す機会となりました。子どもと同じ目線で話すことは大切なことだと分かりました。子どもの権利条約40条全て大切な事であり、勉強になりました。